

2019年3月期
決算説明会

2019年5月22日

 大豊建設株式会社

会次第

- I . 2018年度決算の概況及び
2019年度の見通し

- II . 中期経営計画の進捗状況と
今期の取り組み

目 次

決算の概況	P-1
// (財務状況)	P-2
受注高【単体】	P-3
完成工事高	P-4
完成工事総利益	P-5
ニューマチックケーソン・シールド工事【単体】	P-6
2019年度計画数値	P-7
中期経営計画(2017～2019年度)の進捗状況と今期の取り組み (数値目標)	P-8
// (重点施策)	P-9
主な受注工事・完成工事	P-11
主なニューマチックケーソン工事・シールド工事	P-12

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
また、本資料はIR情報の提供を目的とするものであり、当社発行株式の購入等を勧誘することを目的としたものではありません。

決算の概況



(単位:百万円)

	2018/3期			2019/3期						対前年同期比較			対計画比較		
	実績			計画			実績			連結	大豊建設	森本組	連結	大豊建設	森本組
	連結	大豊建設	森本組	連結	大豊建設	森本組	連結	大豊建設	森本組						
受注高	154,289	114,070	38,274	142,000	103,000	35,000	192,963	148,321	43,315	38,673	34,251	5,040	50,963	45,321	8,315
土木	81,301	60,983	20,514	73,000	53,000	20,000	102,864	76,066	26,815	21,563	15,083	6,300	29,864	23,066	6,815
建築	71,436	53,086	17,760	67,000	50,000	15,000	89,030	72,254	16,500	17,594	19,167	△1,259	22,030	22,254	1,500
その他	1,551	—	—	2,000	—	—	1,067	—	—	△483	—	—	△933	—	—
完成工事高	149,649	106,452	38,002	150,000	110,000	35,830	150,777	110,122	36,199	1,127	3,670	△1,803	777	122	369
土木	73,928	52,099	22,026	77,000	56,000	20,830	75,694	53,937	21,775	1,766	1,838	△251	△1,306	△2,063	945
建築	71,519	54,353	15,976	70,000	54,000	15,000	71,391	56,184	14,424	△127	1,831	△1,552	1,391	2,184	△576
その他	4,201	—	—	3,000	—	—	3,690	—	—	△511	—	—	690	—	—
完成工事総利益	16,382	10,467	5,041	13,587	9,699	3,000	14,826	10,182	3,681	△1,556	△284	△1,359	1,239	483	681
(%)	(10.9%)	(9.8%)	(13.3%)	(9.1%)	(8.8%)	(8.4%)	(9.8%)	(9.2%)	(10.2%)	—	—	—	—	—	—
土木	9,821	5,990	3,830	7,591	5,383	2,208	9,117	6,342	2,752	△752	351	△1,077	1,526	959	544
(%)	(13.3%)	(11.5%)	(17.4%)	(9.9%)	(9.6%)	(10.6%)	(12.0%)	(11.8%)	(12.6%)	—	—	—	—	—	—
建築	5,774	4,477	1,210	5,216	4,316	792	4,836	3,840	929	△947	△636	△281	△380	△476	137
(%)	(8.1%)	(8.2%)	(7.6%)	(7.5%)	(8.0%)	(5.3%)	(6.8%)	(6.8%)	(6.4%)	—	—	—	—	—	—
その他	786	—	—	779	—	—	871	—	—	142	—	—	92	—	—
(%)	(18.7%)	—	—	(26.0%)	—	—	(23.6%)	—	—	—	—	—	—	—	—
営業利益	11,227	7,422	3,585	8,000	6,200	1,550	9,166	6,687	2,214	△2,060	△734	△1,371	1,166	487	664
(%)	(7.5%)	(7.0%)	(9.4%)	(5.3%)	(5.6%)	(4.3%)	(6.1%)	(6.1%)	(6.1%)	—	—	—	—	—	—
経常利益	11,248	7,673	3,574	8,000	6,400	1,548	9,191	6,925	2,217	△2,057	△747	△1,357	1,191	525	669
(%)	(7.5%)	(7.2%)	(9.4%)	(5.3%)	(5.8%)	(4.3%)	(6.1%)	(6.3%)	(6.1%)	—	—	—	—	—	—
当期利益	7,883	5,555	2,436	5,400	4,400	1,070	6,141	4,747	1,474	△1,742	△808	△961	741	347	404
(%)	(5.3%)	(5.2%)	(6.4%)	(3.6%)	(4.0%)	(3.0%)	(4.1%)	(4.3%)	(4.1%)	—	—	—	—	—	—

決算の概況(財務状況)



連結

		前期末 2018/3	当期末 2019/3	対前期比
(単位:百万円)				
資産の部	現金預金	44,252	38,687	△5,564
	受取手形・完成工事未収入金等	66,028	70,866	4,838
	etc.	11,698	15,632	3,934
	流動資産	121,978	125,186	3,208
	固定資産	18,583	21,751	3,168
資産の部		140,561	146,938	6,376

負債の部	支払手形・工事未払金等	44,231	44,402	171
	短期借入金(1年以内返済予定の長期借入金含む)	5,000	1,850	△3,150
	etc.	25,768	28,677	2,908
	流動負債	74,999	74,929	△69
負債の部	長期借入金	-	3,150	3,150
	etc.	7,654	7,032	△622
	固定負債	7,654	10,182	2,527
負債の部		82,653	85,111	2,457

純資産の部	資本金	9,039	9,039	-
	資本剰余金	7,997	8,010	13
	利益剰余金	37,974	42,818	4,844
	自己株式	△160	△1,057	△896
	株主資本	54,850	58,811	3,961
	その他の包括利益累計額	2,139	2,151	12
	新株予約権	545	427	△118
	非支配株主持分	372	436	64
純資産の部		57,908	61,826	3,918
負債純資産合計		140,561	146,938	6,376

※自己資本比率

40.5%

41.5%

単体

		前期末 2018/3	当期末 2019/3	対前期比
(単位:百万円)				
資産の部	現金預金	28,710	26,912	△1,797
	受取手形	5,407	2,614	△2,793
	完成工事未収入金	45,376	50,573	5,197
	etc.	10,780	13,236	2,456
	流動資産	90,274	93,337	3,063
	固定資産	19,327	21,651	2,324
資産の部		109,601	114,989	5,387

負債の部	支払手形	6,805	7,571	766
	工事未払金	24,708	24,878	170
	短期借入金(1年以内返済予定の長期借入金含む)	5,000	1,850	△3,150
	etc.	21,267	23,801	2,533
	流動負債	57,781	58,101	320
負債の部	長期借入金	-	3,150	3,150
	etc.	4,818	4,398	△420
	固定負債	4,818	7,548	2,729
負債の部		62,600	65,649	3,049

純資産の部	資本金	9,039	9,039	-
	資本剰余金	7,997	8,010	13
	利益剰余金	27,498	30,949	3,450
	自己株式	△160	△1,057	△896
	株主資本	44,375	46,942	2,567
	評価・換算差額等	2,080	1,970	△110
	新株予約権	545	427	△118
純資産の部		47,001	49,339	2,337
負債純資産合計		109,601	114,989	5,387

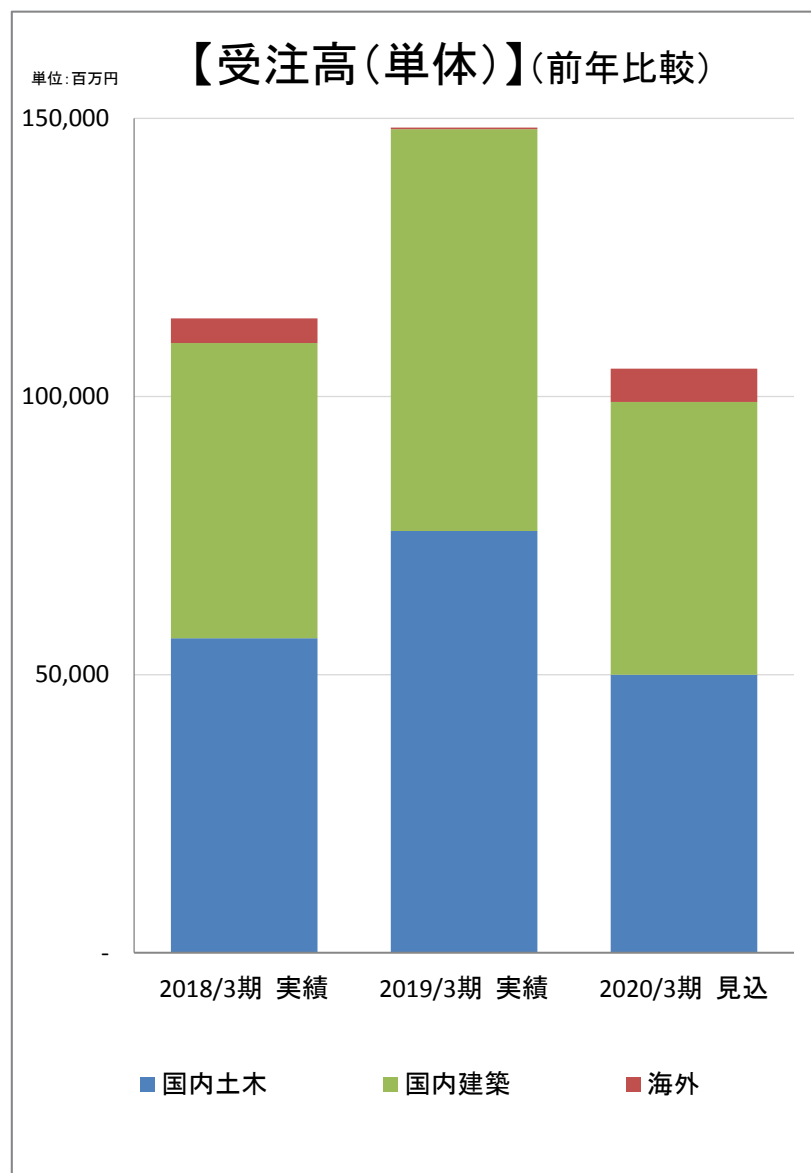
※自己資本比率

42.4%

42.5%

受注高【単体】

(単位:百万円)



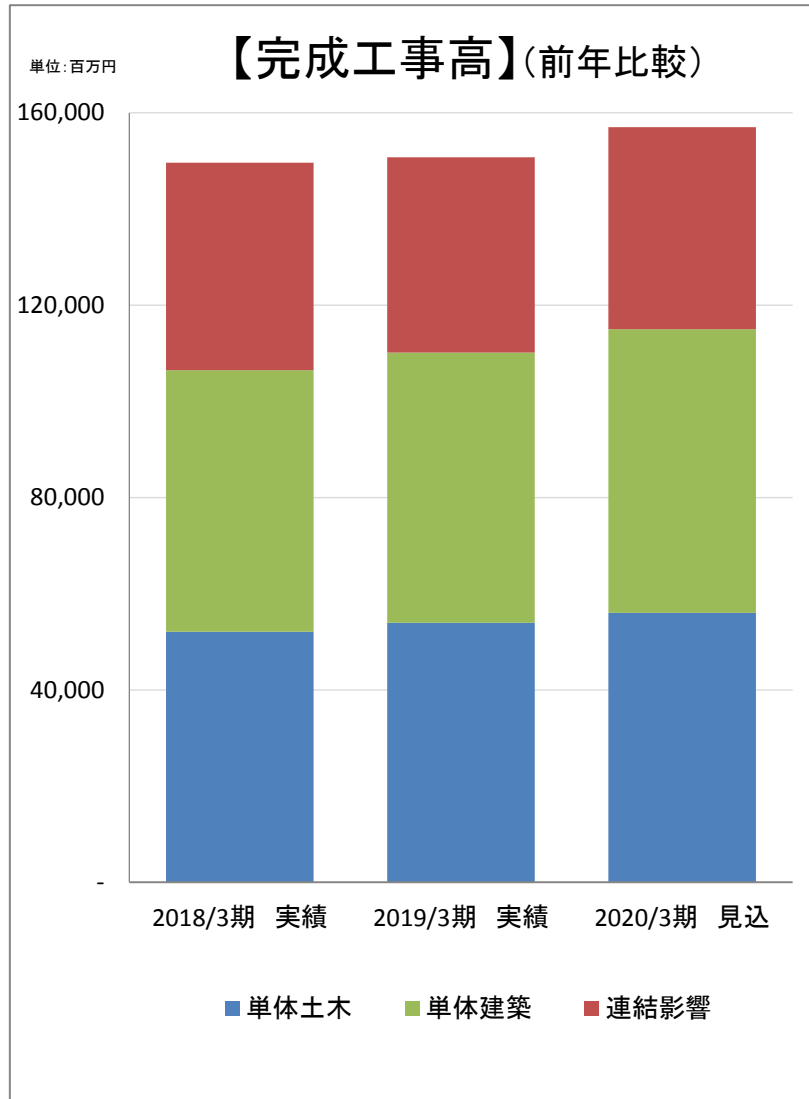
	2018/3期	2019/3期		対前期比	対計画比	2020/3期 見込
	実績	計画	実績			
受注高	114,070	103,000	148,321	34,251	45,321	105,000
土木	60,983	53,000	76,066	15,083	23,066	55,000
国内官庁	51,630	52,000	52,015	385	23,817	50,000
国内民間	4,929		23,802	18,872		
海外	4,423	1,000	249	△4,174	△751	5,000
建築	53,086	50,000	72,254	19,167	22,254	50,000
国内官庁	8,580		17,407	8,826	22,244	49,000
国内民間	44,494	50,000	54,837	10,342		
海外	10	—	9	△0	9	1,000
受注残高	179,375	—	217,574	38,198	—	
土木	112,370	—	134,499	22,129	—	
建築	67,004	—	83,074	16,069	—	

《主なポイント》

- 土木・建築ともに受注高は対前年及び対計画を大きく上回る結果となった。
- ・土木についてはシールド工場の受注が極めて好調である反面、ニューマチックケーソン工事は苦戦。それ以外では単独・スポンサーの大型案件の受注が目立った。
- ・建築については住宅・非住宅ともに大型案件を複数受注したことが受注高を伸ばした要因である。

完成工事高

(単位:百万円)



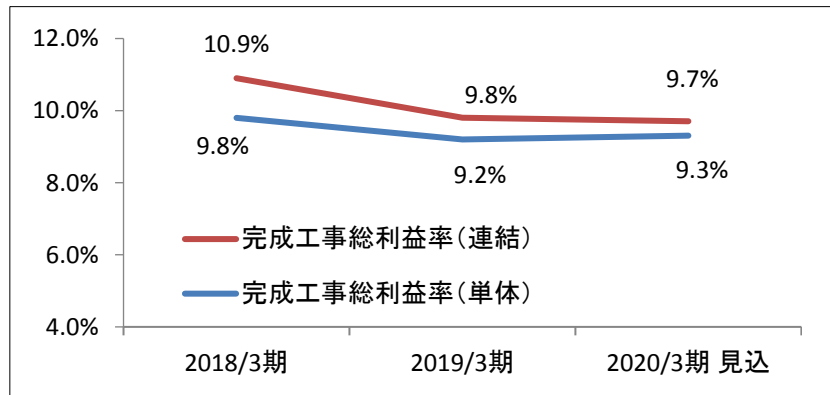
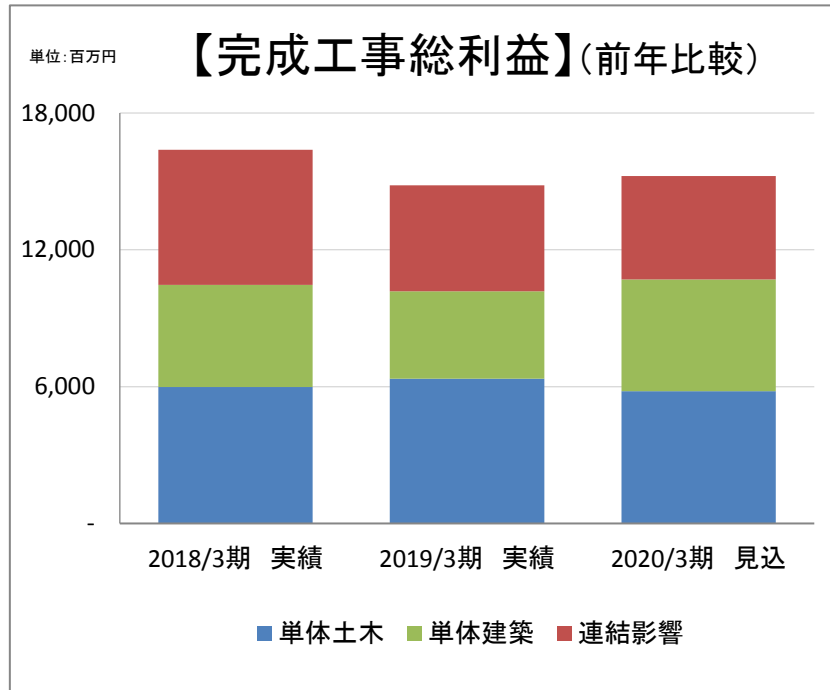
	2018/3期	2019/3期		対前期比	対計画比	2020/3期 見込
	実績	計画	実績			
連結	149,649	150,000	150,777	1,127	777	157,000
単体	106,452	110,000	110,122	3,670	122	115,000
土木	52,099	56,000	53,937	1,838	△2,063	56,000
建築	54,353	54,000	56,184	1,831	2,184	59,000
連結影響	43,197	40,000	40,655	△2,542	655	42,000

《主なポイント》

完成工事高は、今後も大きな変化なく推移する見込みである。
 保有技術者数から定まる施工キャパシティの上限に近い状態が続いている
 状況である。

完成工事総利益

(単位:百万円)



	2018/3期	2019/3期		対前期比	対計画比	2020/3期 見込
	実績	計画	実績			
連結	16,382	13,587	14,826	△1,556	1,239	15,237
(利益率)	(10.9%)	(9.1%)	(9.8%)			(9.7%)
単体	10,467	9,699	10,182	△284	483	10,700
(利益率)	(9.8%)	(8.8%)	(9.2%)			(9.3%)
土木	5,990	5,383	6,342	351	959	5,802
(利益率)	(11.5%)	(9.5%)	(11.8%)			(10.4%)
建築	4,477	4,316	3,840	△636	△476	4,898
(利益率)	(8.2%)	(8.0%)	(6.8%)			(8.3%)
連結影響	5,915	3,888	4,644	△1,271	756	4,537

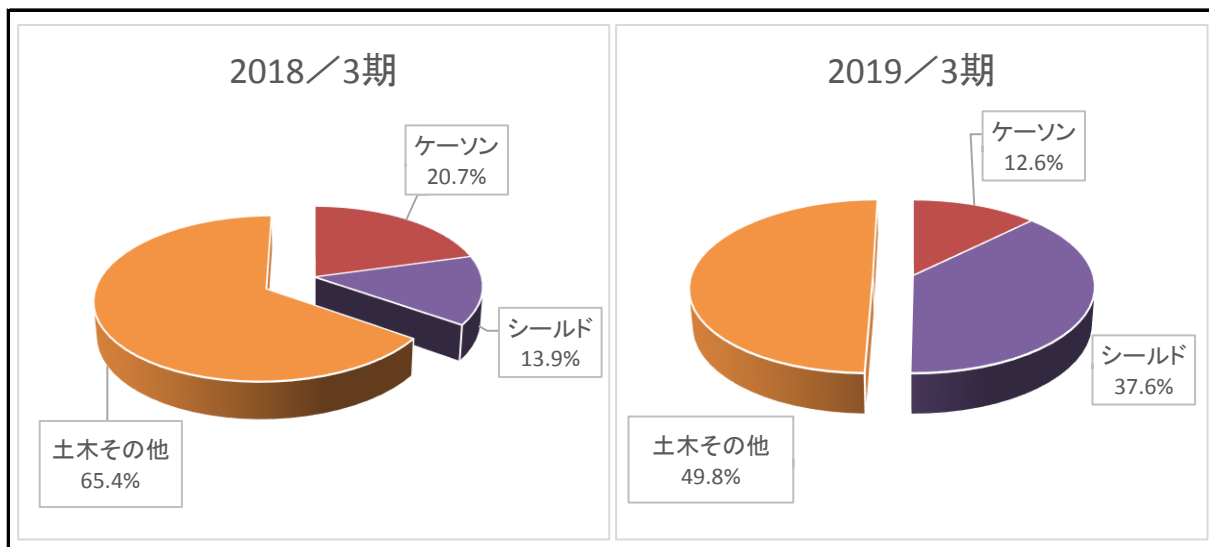
《主なポイント》

連結・単体ともに震災復興関連工事の減少により、対前年で利益が減少したが、単体土木では首都圏の大型案件の利益が向上したことで、対前年、対計画ともに上回る事ができた。単体建築は対前年、対計画ともに下回る結果となった。

ニューマチックケーソン・シールド工事【単体】

【受注高】

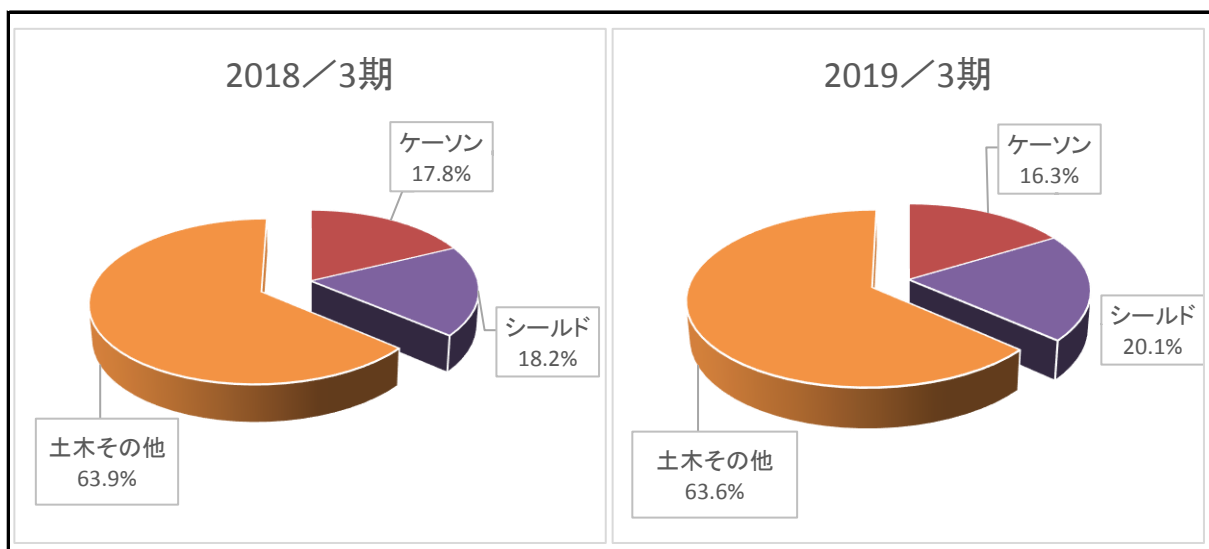
(単位:百万円)



	2018/3期 実績	2019/3期 実績	対前期比
土木工事	60,983	76,066	15,083
土木工事のうち ケーソン工事 受注高(%)	12,615 20.7%	9,604 12.6%	△3,011 —
土木工事のうち シールド工事 受注高(%)	8,498 13.9%	28,579 37.6%	20,081 —

【完成工事高】

(単位:百万円)



	2018/3期 実績	2019/3期 実績	対前期比
土木工事	52,099	53,937	1,838
土木工事のうち ケーソン工事 完成工事高(%)	9,283 17.8%	8,801 16.3%	△482 —
土木工事のうち シールド工事 完成工事高(%)	9,508 18.2%	10,821 20.1%	1,313 —

2019年度計画数値

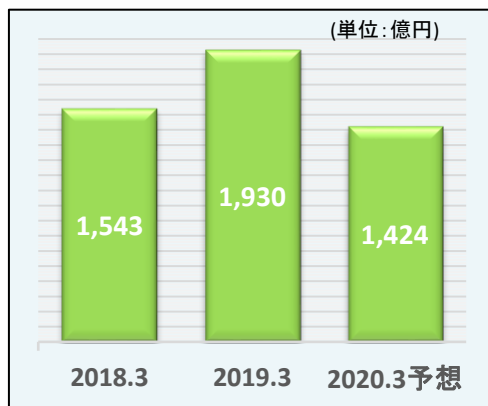


(単位:百万円)

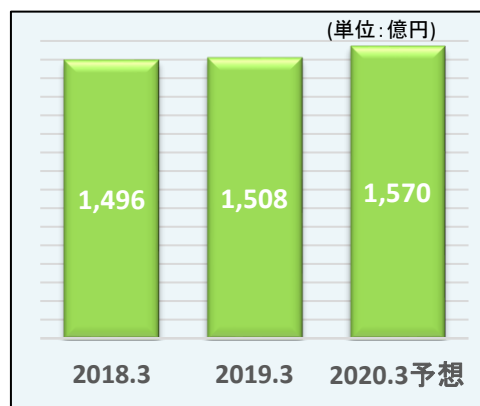
	連結		大豊建設		森本組	
受注高	142,300		105,000		35,000	
土木	75,000		55,000		20,000	
建築	66,700		50,000		15,000	
その他	600		—		—	
完成工事高	157,000		115,000		37,840	
土木	75,000		56,000		19,040	
建築	79,000		59,000		18,800	
その他	3,000		—		—	
完成工事総利益	15,237	(9.7%)	10,700	(9.3%)	3,740	(9.9%)
土木	8,242	(11.0%)	5,802	(10.4%)	2,440	(12.8%)
建築	6,288	(8.0%)	4,898	(8.3%)	1,300	(6.9%)
その他	707	(23.6%)	—	—	—	—
営業利益	9,200	(5.9%)	6,900	(6.0%)	2,270	(6.0%)
経常利益	9,200	(5.9%)	7,100	(6.2%)	2,260	(6.0%)
当期利益	6,200	(3.9%)	4,900	(4.3%)	1,500	(4.0%)

【業績数値】(連結)

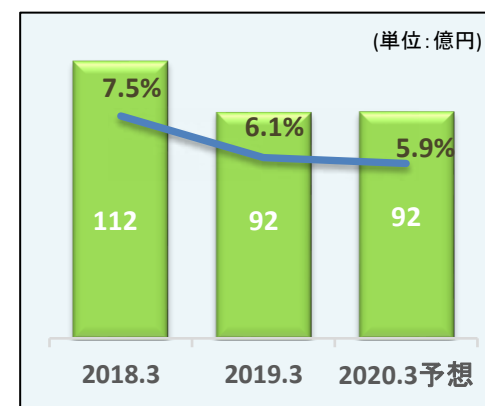
(目標) 受注高: 1,500億円以上



(目標) 完工高: 1,500億円以上

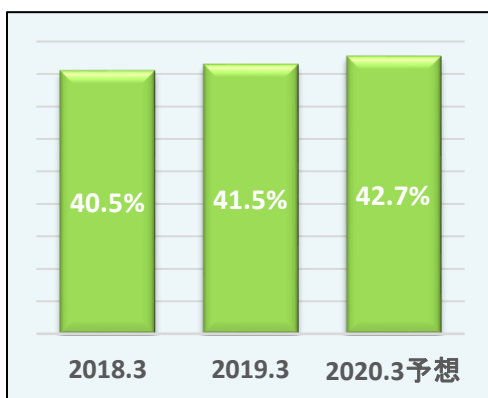


(目標) 営業利益: 5%以上

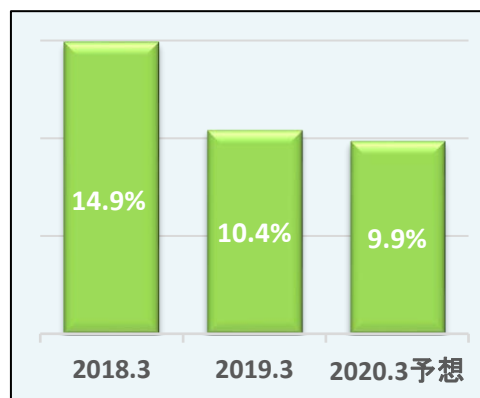


【財務数値】(連結)

(目標) 自己資本比率: 45%以上



(目標) ROE: 10%以上



【中期経営計画(2017~2019年度)】

自己資本比率は計画最終年度での目標、その他の数値は計画各年度の目標。

2018年度は概ね順調に推移、2019年度も最終的に目標を達成すべくグループ全体で取り組む。

【経営資源の確保・育成】

(昨年度までの進捗)

- ◆2018年4月 新卒採用者43名(計画40名)
- ◆2019年4月 新卒採用者41名(計画45～50名)



新入社員研修(座学)



新入社員研修(実習)

(今年度の取り組み)

- ◆採用活動の工夫・強化(新卒採用者40名の確保)

→業界セミナーや現場見学会の実施及び各種イベントや技術フォーラムへの参加で知名度アップを図る

- ◆若年層の離職防止を目的として、研修プログラムを見直す

→研修期間を延長し、座学だけでなく鉄筋・型枠・足場・測量の実習、CAD、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)などの基礎力を固めた上で現場に送り出す

- ◆「働き方改革」への取り組みの一環として、(一社)日本建設業連合会による「週休二日実現行動計画」に則り、

2019年度末までに4週6閉所の実現を目指す

【技術開発の強化】

(昨年度までの進捗)

- ◆中央機材センターの新設
→2018年4月より稼働
- ◆研究開発組織の再構築
→2018年10月組織改編

(今年度の取り組み)

- ◆技術研究所の新設(中央機材センターへ併設)

【その他の施策】

(昨年度までの進捗)

- ◆安定配当(増配)の実施
期末配当 75円/株(2018年10月 株式併合 5株 → 1株)

- ◆IR活動の充実

2018年度個別ミーティング実施回数 39回(延47人)

(今年度の取り組み)

- ◆安定配当の継続
- ◆更なるIR活動の充実
→個別ミーティングに加え現場見学会の開催
- ◆資金の有効活用として対象を限定せず、幅広く検討する(新規事業、投資等)



技術研究所(完成イメージ)

主な受注工事・完成工事



《主な受注工事》

【土木】

第30-46057号 赤木貯留管築造工事	郡山市上下水道局	2021年3月竣工予定
東京外かく環状道路大泉中工事	東日本高速道路(株)	2021年3月竣工予定
大野油坂道路此の木谷橋下部他工事	国土交通省 近畿地方整備局	2021年2月竣工予定
大庭浄水場 調整池及び配水ポンプ棟更新工事	大阪広域水道企業団	2022年3月竣工予定
乙金浄水場整備工事	福岡市 水道事業管理者	2025年3月竣工予定

【建築】

第18-70011-0002号 福島県立相馬支援学校新築(建築)工事	福島県	2020年2月竣工予定
(仮称)横浜市青葉区あざみ野二丁目計画新築工事	東急不動産(株)・東京急行電鉄(株)	2021年1月竣工予定
(仮称)ナカノ千葉白井物流センター計画	ナカノ開発プロジェクト特定目的会社	2020年3月竣工予定
(仮称)新館清掃施設整備及び運営事業	八王子市	2022年9月竣工予定
HAT神戸新設小学校・特別支援学校新築工事	神戸市	2021年1月竣工予定

《主な完成工事》

【土木】

地下鉄桃園空港線CM01工区(機場連外捷運系統延伸至中歴火車站工程(CM01機場捷運))	交通部高速鐵路工程局	2019年3月竣工
国道106号 腹帯地区道路工事	国土交通省 東北地方整備局	2019年3月竣工
平成26年度県債311地震災1441-A03号坂元川外河川災害復旧工事(その3)	宮城県	2019年3月竣工
王子第二ポンプ所建設その2工事	東京都下水道局	2019年3月竣工
市道桶狭間勅使線第2号道路改良工事	名古屋市緑政土木局	2018年8月竣工

【建築】

ベナン共和国アラダ病院建設	ベナン共和国保健省	2018年4月竣工
(仮称)中央運輸株式会社岩槻物流センター計画	中央運輸(株)	2018年12月竣工
(仮称)駒澤計画新築工事	住友不動産(株)	2019年1月竣工
麴町東急ビル建替計画	東京急行電鉄(株)	2019年2月竣工
浜松(28)庁舎新設建築その他工事	南関東防衛局	2018年8月竣工

主なニューマチックケーソン工事・シールド工事



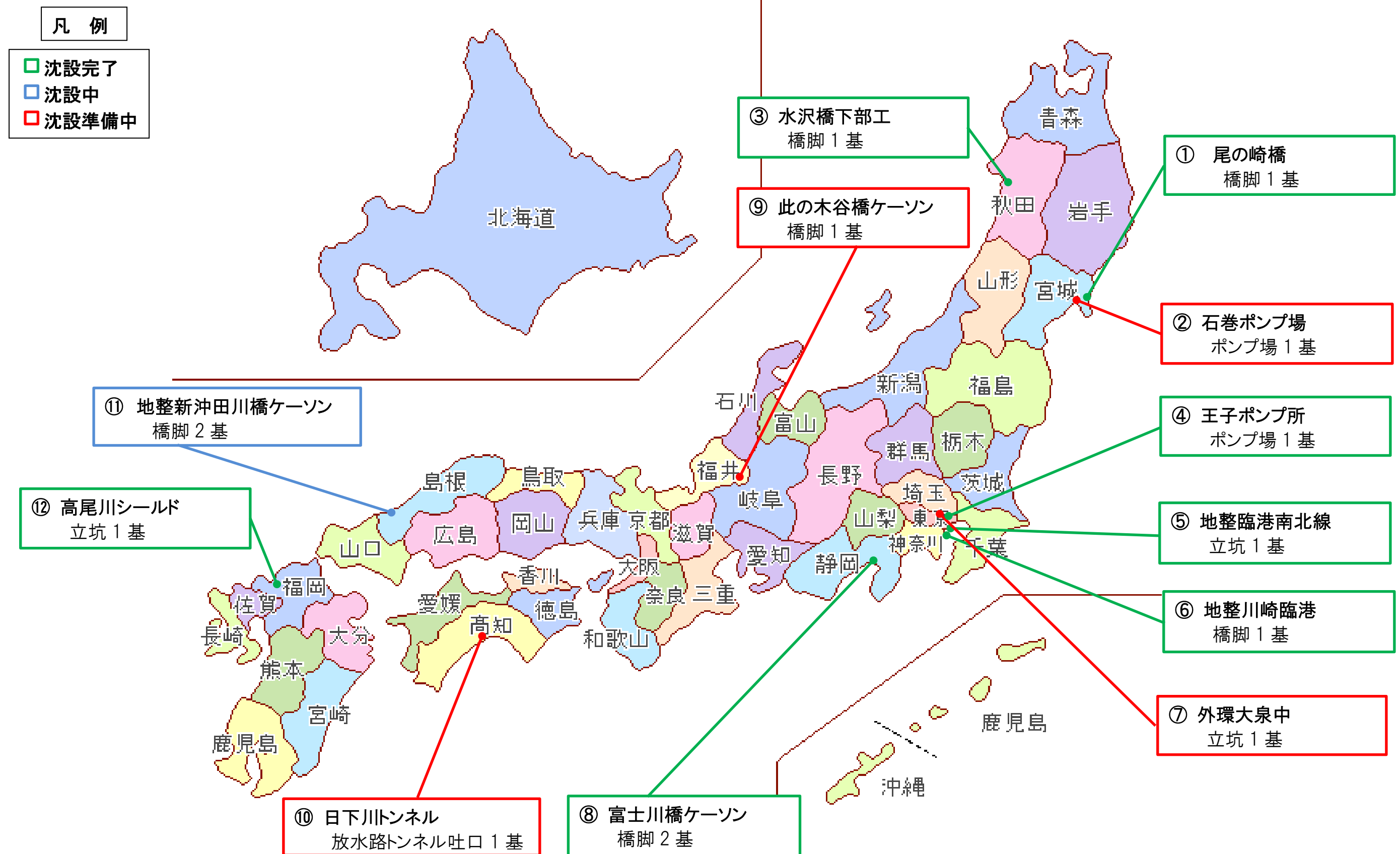
《主なニューマチックケーソン工事》

平成28年度県債311地震災5922-001号尾の崎橋橋梁災害復旧下部工事	宮城県	2019年5月竣工予定
石巻市石巻中央排水ポンプ場他1施設復興建設工事その2	日本下水道事業団 東日本本部	2021年3月竣工予定
地方道路交付金工事(橋梁補修) 30-FI54-N1	秋田県	2019年6月竣工予定
王子第二ポンプ所建設その2工事	東京都下水道局	2019年3月竣工
川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部(MP4)橋梁下部工事	国土交通省 関東地方整備局	2019年1月竣工
東京外かく環状道路大泉中工事	東日本高速道路(株)	2021年3月竣工予定
平成29年度[第29-D4600-01号](一)富士由比線社会資本整備総合交付金(県道橋梁改築)工事(新々富士川橋・P3、P4橋脚)	静岡県	2019年6月竣工予定
大野油坂道路此の木谷橋下部他工事	国土交通省 近畿地方整備局	2021年2月竣工予定
平成30-32年度 日下川新規放水路(吐口側)工事	国土交通省 四国地方整備局	2021年3月竣工予定
三隅・益田道路新沖田川橋下部工事	国土交通省 中国地方整備局	2019年9月竣工予定

《主なシールド工事》

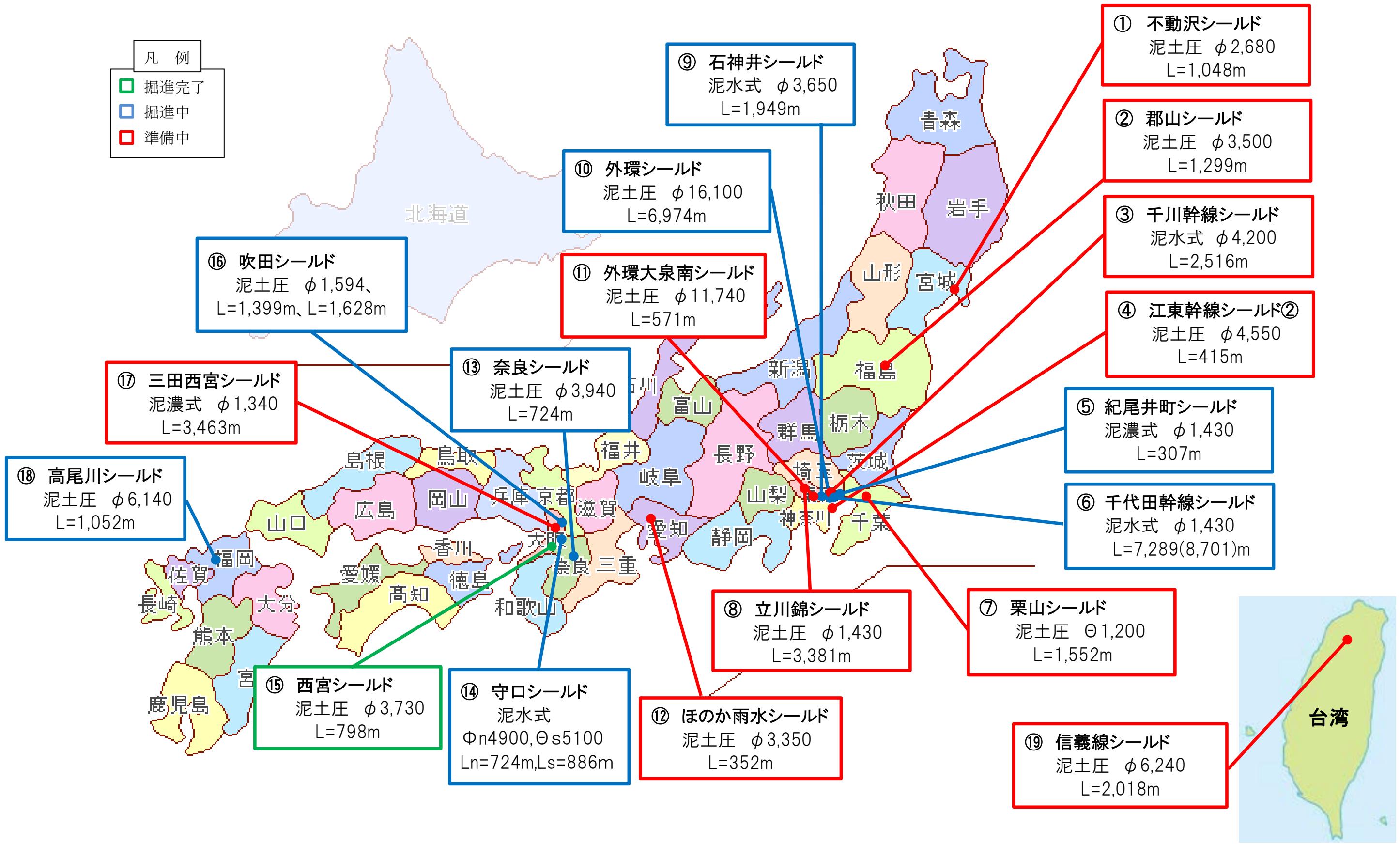
石巻市不動沢1号幹線管渠他1施設災害復旧建設工事	日本下水道事業団 東日本本部	2021年3月竣工予定
第30-46057号 赤木貯留管築造工事	郡山市上下水道局	2021年3月竣工予定
東京外かく環状道路本線トンネル(北行)大泉南工事	中日本高速道路(株)	2019年10月竣工予定
東京外かく環状道路大泉南工事	東日本高速道路(株)	2020年5月竣工予定
江東幹線その3工事	東京都下水道局	2019年8月竣工予定
千川増強幹線工事	東京都下水道局	2021年2月竣工予定
練馬区石神井台一丁目地内から上井草給水所間送水管(2600mm)用立坑築造及びトンネル築造工事	東京都水道局	2019年7月竣工予定
第2次ほのか雨水幹線下水道築造工事	名古屋市上下水道局	2021年5月竣工予定
片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事	大阪府吹田市水道部	2021年3月竣工予定
三田西宮連絡管送水管布設工事(山口工区)	兵庫県企業庁猪名川広域水道事務所	2022年3月竣工予定

大豊建設 ニューマチックケーソン工事現況 (2019年4月末現在)



大豊建設 シールド工事現況 (2019年4月末現在)

- 凡例
- 掘進完了
 - 掘進中
 - 準備中



主な土木工事



市道桶狭間勅使線第2号道路改良工事【愛知県】



平成26年度県債311地震災1441-A03号
坂元川外河川災害復旧工事(その3)【宮城県】



国道106号 腹帯地区道路工事【岩手県】

主な建築工事



平成28年度利総給工第4号 利府小学校校舎建替え工事【宮城県】



(仮称)中央運輸株式会社岩槻物流センター計画【埼玉県】



麴町東急ビル建替計画【東京都】



八尾市水道庁舎建設工事【大阪府】

主なニューマチックケーソン工事

王子第二ポンプ所建設その2工事【東京都】



施工状況



掘削機(DREAM II)



掘削状況



施工完了



施工完了(内部)

主なシールド工事

江東幹線工事【東京都】



シールドマシン



防音ハウス内部



施工状況



施工完了

創立70周年 特集広告

大豊建設は創立70周年を迎えました

大都市支える地下空間

対談 大隅健一社長×木佐彩子さん





大豊建設は、都市の発展を支える地下空間の構築に力を注いでいます。最新の技術と豊富な経験を活かし、安全かつ確かな品質を実現しています。

大隅健一社長は、70周年を機に、さらなる成長と社会貢献を誓っています。木佐彩子さんは、女性の活躍を推進し、多様な人材の力を引き出すことに注力しています。

大豊建設株式会社

2019年3月31日付 読売新聞

大豊建設創立70周年

女性が活躍 確かな技術で 社会に貢献する100年企業へ

大豊建設女性社務部 編集部




大豊建設は、70周年を迎え、さらなる成長と社会貢献を誓っています。確かな技術と豊富な経験を活かし、安全かつ確かな品質を実現しています。

大隅健一社長は、70周年を機に、さらなる成長と社会貢献を誓っています。木佐彩子さんは、女性の活躍を推進し、多様な人材の力を引き出すことに注力しています。

大豊建設株式会社

2019年3月31日付 毎日新聞



「誠実と努力と技術力とを以て他を圧倒すること」。70年前の3月31日に設立された大豊建設の創立宣言に書かれている。技術者集団を率いる大岡健一社長は「どこに出しても恥ずかしくない技術で、他社から声をかけられる（なくてはならない）会社を目指してきた」と強調する。100年企業に向け本社ビルを改装、気持ちも新たに企業価値を最大化するための技術を磨き、人材を育てる。

技術の大豊で信頼獲得



オープンルームでの会議

平成5年に開通した東京湾連絡橋「レインボーブリッジ」。植物を支える根のようになり、この吊り橋を支持し安定させている橋梁基礎は、大豊の特許技術「ニューマチックケーソン工法」で施工された。同工法はコップを逆さまにして平らに水中に押し込むと空気の圧力により水の浸入を防ぐという原理を応用。下部に作業室を設けた鉄筋コンクリート製の箱（ケーソン）を地上で造り、作業室に地下水圧に見合う空気（ニューマチック）を送ることで水を排除して掘削し箱を沈める作業を行う。

近年の異常気象による浸水対策や地下空間利用のニーズがケーソンの大型化と大深度化へとつながり、安全や環境に配慮した同工法にますます注目が集まっている。同社は昭和27年に大豊式澱函工法（後のニューマチックケーソン工法）、46年にドルフィンドック工法、59年に泥土加圧シールド工法など次々に特許を取得。工法のパイオニアとして建設業界を牽引することで地位と信頼を築いていった。中杉正伸取締役専務執行役員は「時代が必要とする技術を発明してきた。今も生きている。根本は変わらない」と大豊の魅力を説く。

PR



多発するゲリラ豪雨などによる浸水被害を防ぐため東京都は、江東区の地下30分に直径6メートルという巨大下水道トンネル工事を進めている。施工しているのは大豊建設で、技術力と施工実績が認められた。延長4.2キロの途中に3本の鉄道が走り、中でも東京メトロ東西線とはわずから5センチしか離れていない。鉄道の運行に支障が生じないよう神経を使うほか、深度により変わる土質や、急に現れる地中障害物に対応する現場力が求められる。

技術の継承・進化に挑む



現場に立つシールド作業所長 鈴木

現場を任切る鈴木高広・江東幹線シールド作業所長は「深い場所になるほど施工が難しくなる。いろいろな地層や想定外のトラブルにも遭遇するが、技術的に対応できる我々の出番」と言い切る。豊富な施工ノウハウは他社を寄せ付けず、関係機関から技術的な意見を求められることも増えた。「技術者冥利に尽きる」とのアプロプライドをのぞかせた。鈴木氏は大学で土木工学を専攻、大豊の得意分野の技術を極めたいと平成7年に入社。熱意が認められてシールド現場は1筋で25年になる。土木は経験工学といわれる。トンネルを掘り進める中で分かってきたが、計算通りにいかないことが少なくない。意図しない出来事に対応できるようにするには、先輩に答えを教えてもらうのではなく、自ら答えを導き出すための考え方が大切になる。入社4年目に当時の現場所長だった大岡健一社長から教えられた。若手にはこうした考えを理解し身に付けてほしいと人づくりに励む。大切なのはコミュニケーションで、押しつけではなく相互理解による育て方改革に励む。

一方で技術の継承・進化にも挑む。古き良きレガシー（遺産）を残しつつ、時代のニーズに合わせて「変わり続けることが重要」と説く。人工知能（AI）やICT（情報通信技術）を積極的に採用することにも、現場の創意工夫で「独自技術の開発につなげたい。技術を生み出すのが大豊」と将来を見据える。

PR



建設会社で働く女性「建設小町」の活躍の場が広がっている。「土木は男の仕事。女性は入ってはいけない」といわれたトンネル工事のほか、営業や設計の現場にも登場。女性ならではのきめ細やかな提案で現場改革が進む。

大豊建設初の女性営業職が生まれたのは平成29年4月。大学で建築学科に進み、入社時に技術職を希望したが叶わなかった森川絃子さんだ。東京建築支店建築営業部に所属し、「相手の気持ちを考え一緒に悩み、打開策を提案する」姿勢が実り、配属半年で2件の大型受注に成功した。

工場などであらかじめ生産されたコンクリート製品を現場で組み立てて設置するPC（プレキャスト）工法が、工期短縮やコストダウンにつながるため顧客に認められると注目。PCで業界をリードする会社と信頼関係を築き、同社の新工場建設を請け負うだけでなく、顧客を紹介され受注につながった。



リケジョの2人

森川さんは「同社工場で生産したPCを受注した物件に出荷したいという夢が叶った」と笑みを浮かべる。「若い人が「ここで働きたい」と思うカッコイイ空間を意識した」

創立70周年を機に改装した本社ビルのデザイン設計を担当した。同支店建築設計部の平山麻子さんは出来栄えに胸を張る。エントランスや会議室フロアは天井や壁をグレーに統一、間接照明などを採用して今までのオフィス環境とは全く違った空間づくりに知恵を絞った。

大学で建築を学んだリケジョ（理工系女性）だが、入社当初は大阪支店の設計とは異なる部署で勤務。しかし建築設計にどうしても携わりたくて、「一念発起して一級建築士の資格を取得、念願の部署に配属された。」「チャレンジの気持ちでアピールすれば応援してくれる」と話す。

洗練されたデザインが顧客に認められ、首都圏の注目物件を多数手がける。「デザインが形になると感動する。地図にも残る」と目を細める。

2人とも育児・家事と仕事の両立という忙しい毎日を送りながら、女性視点を盛り込んだ提案で「技術の大豊」を支える。森川さんは「女性の活躍を後押しする環境が整っている。その感謝の気持ちを忘れてはいけない」と口元を引き締める。

PR

建設小町が活躍する



大豊建設は3月31日、創立70周年を迎えた。この間、特許技術のニューマチックケーソン工法とシールド工法を武器に建設業界で確固たる地位を築いた。100年企業に向けて大隈健一社長は「得意技術を生かすことができる人材の確保と育成が重要になる。そのために大豊の魅力を積極的に情報発信していく」と意気込む。

「技術の大豊」を掲げてきた「技術に立脚し、技術に裏打ちされた会社としてスタート。パイオニアでもある2つの得意工法を柱に、確かな技術で社会のニーズに応えてきた。他社より秀でる技術を武器に、大きなプロジェクトには声をかけてもらっている。最近ではゲリラ豪雨など災害が頻発しているが、浸水対策として有効な地下貯留施設（一時的に雨水をためる施設）など防災関連工事が増えており、我々の技術が生かされる」

――出番が増える

「土木は地下工事が多い。しかも大深度、大断面になっている。40mより深い地下に造られる立坑工事にはケーソン工法、トンネル



大隈健一社長に答えるインタビュー

工事はシールド工法が期待されている。ケーソン工法は地下に構造物を造るときに有効で、ポンプ場や橋梁基礎に加え多様なニーズに対応している」

――建築部門は

「土木事業に匹敵する規模に成長、今では売り上げの半分を占める。まさに車の両輪で、最近では物流倉庫やホテル、商業施設、学校など多分野で仕事を任されている」

――100年企業に向けた取り組みは

「大豊ブランドでもある2つの得意工法を継承していくために技術者が必要であり、若い人材を育てる。技術を前面に出しながら働きがいがあり、夢を持てる会社をアピールして人材を確保する。女性を「建設小町」として呼び入れたい。頼もしい女性も働いており、近い将来には作業所長に就くと期待している」

――人材獲得のために課題は

「知名度の向上に尽きる。70周年を機にアピール、100周年時には売り上げを現状の1500億円規模から2000億円に引き上げたい。資格が厳しくなる東証1部の生き残りをかけ技術者集団として必要とされる会社を目指す」

PR

人材の確保と育成に注力